

第45回福岡県ミニバスケットボール選手権大会 女子決勝戦戦評

女子決勝は、南部地区2位代表の大川ミニバスケットボールクラブ（白）と北九州1位代表の萩原パワフルガールズ（青）の対戦となった。

1Q

開始直後に萩原7番がゴール下のショットを決める。お互いにゾーンディフェンスで守る展開。大川は、4番の鋭いドライブを中心に攻め、萩原はパスをつないでディフェンスとのズレをつくり攻める。

ハイポストでディフェンスを引きつけ、ゴール下のノーマークの選手にパスを送って着実に加点した萩原が11-5でリードする。

2Q

お互いにゾーンディフェンス。大川10番がドライブしてシュートを決め、ゲームが動く。大川のディフェンスが機能し始めて流れをつかみ、大川が逆転。萩原のタイムアウト後に、大川がミスしたところを18番を中心に速攻を出した萩原が連続加点し、18-12と萩原のリードで前半終了。

3Q

大川は、4番のドライブから2対1をつくり得点するが、オフェンスのミスが続き、苦しいゲームになる。一方、萩原は18番が周りの選手にナイスパスを送り続け、連続で加点し9点リードで終了。

4Q

萩原は4番と18番を中心にゲームを組み立てるが、大川のタイトなゾーンプレスに対し、なかなかフリーでシュートが打てない。

萩原が8点リードで迎えた残り2分26秒での大川のタイムアウト後に、大川は攻めの姿勢、ルーズボールへの執着心を増し、3点差まで詰め寄る。しかし、2分間得点が入らなかった萩原が4番のミドルシュートと18番のドライブからのシュートで突き放し、34-29で萩原勝利。競り合う展開の中、最後まで頑張り続けた両チームを讃えたい。